

会報

◇奈良大学史学会総会

五月三十一日(月)、本学において、第二十八回奈良大学史学会総会を行った。

二〇〇九年度の決算・会計監査報告及び事業報告が行われ、ついで二〇一〇年度の役員人事案・事業計画案とそれに伴う予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認された。

二〇一〇年度の役員は以下の通り。

▽会長

河内 将芳

▽副会長

佐々木 克

▽教員委員

(編集)

河内 将芳

足立 広明

(会計)

青木 芳夫

足立 広明

(庶務・交換)

森田 憲司

(監査)

下坂 守

▽学生委員

(代表)

寺崎 保広

(副代表)

鈴木 遼太

(青垣祭企画実行局長)

鈴木 悠太

(総務・広報局長)

常包 春花

(四回生委員)

西岡 梢

梅谷 祐輔

大前 拓也

金岡 初奈

坂本 真菜

鈴木恵梨香

中原 大典

(三回生委員)

前田 拓志

大川 祐平

山本 洋光

越谷 悟

金 達也

鈴木 遼太

鈴木 悠太

西岡 梢

常包 春花

山本 康介

平田 弥里

景山 美和

嘉島 暢彦

島川 美穂

清水 翔之

曾根 脩平

高田 洸平

土屋 清貴

中田 優香

山室 諒太
池田 奈生 大橋由希子
長崎 命 野村 夏実
濱田 京佳 福角 和美
満尾 泰亮 渡邊 将真

◇特別講義

五月三十一日(月)、史学会総会に引き続き、特別講義が行われた。講師・演題は以下の通り。

八杉 淳氏(草津市立草津宿街道交流館館長)

「街道の魅力」

一月二十四日(月)、特別講義が行われた。講師・演題は以下の通り。

根津由喜夫氏(金沢大学教授)

「カフカースからブルガリアへ

―あるグルジア系ビザンツ軍人の遍歴―

◇青垣祭

本年度はテーマを「鎖国〜長崎貿易とキリスト教」とし、展示発表を行った。鎖国から開国までのプロセスを追うこ

とで、現代の恵まれた日本を新たな目線で見つめることができる考えたからである。

会場では「キリスト教」「貿易」「学問」に大きく分けてパネルや資料、模型や地図などを用い解説した。多くの方にご好評を頂き、青垣大賞制作委員会より「創造企画賞企画部」一位に選ばれた。天候が悪かったにもかかわらず、十月三十一日(日)から十一月二日(火)の三日間で三〇〇人以上の来場者が訪れた。

◇体験ツアー

今年の体験ツアーは、六月六日(日)に「清水寺・八坂神社見学ツアー」を実施した。また、十一月二十八日(日)に、「大阪城見学ツアー」を実施し、大阪城および周辺の歴史ある建造物を、学生委員の解説を交えて見学した。

◇「史学会会報」等の発行

奈良大学史学会の活動の普及を目的として、「史学会会報」を四月、五月、六月、七月、九月、十一月、十二月に発行し、史学会の企画案内や季節の話題等を掲載した。

また、本年度も一回生を対象に、来年度以降の講読・ゼ

ミを決定する上での参考資料として、各ゼミに所属する学生の執筆による「講読紹介」を十二月に発行した。

平成二十一年度史学科卒業論文題目

【日本史】

藤原京廃都についての考察

出永 大樹

律令国家の用水政策について

岩田 展世

古代東北の城廓

大内 佑輝

古代陰陽寮について

大平 博之

尾張国正税帳について

岡田美保子

中男作物と贄についての考察

喜多村早弥華

富本銭の性格とその位置づけに関する一考察

小嶋 力

勘解由使についての一考察

小原 綾乃

—大同元年の廃止を中心に—

授刀舎人考

下元 美輝

—授刀舎人を「天皇私兵」とする学説の再考察—

調庸違反における対国司策

菅野 美雪

高市皇子について

新田 真里

—天皇の即位と母の出自—

奈良時代の僧綱について

奈良時代の火災記事について

古代の恩赦についての一考察

—窃盗の赦からの除外を中心に—

大后制の諸問題

古代日本の対新羅関係について

—白村江での衝突、そして—

律令祭祀と相嘗祭

律令国家における調庸粗悪違期未進の問題

—宝亀・延暦期を中心に—

光明皇太后の権限について

古代における過所の一考察

古代天皇の讓位

—奈良時代の女性太上天皇—

古代の葬送儀礼について

日渤海交渉についての一考察

☆ ☆ ☆

三河国松平氏についての考察

—安城松平氏を中心として—

戦国期東濃諸豪族の争い

野崎 千裕

吹井 愛

藤田 武司

堀 あゆみ

宮村 耕平

村山 巴紀

矢野 雄悟

山下みな美

義本 愛

渡辺 由夏

小寺 郁雄

舘 大輔

伊藤 芳樹

岩島 健吾

中世土佐における香宗我部氏の実像

牛島 良太

戦国期における村上水軍の経済活動について

松島 佑希

伊予の国人衆

亀岡 晋也

秀吉の大坂築城の意義

水野 陽介

―河野氏との関係から

室町幕府による外様守護登用に關する考察

酒井 雅規

徳川家康の一生

矢野 雄貴

―外様守護の持つ在地への影響力とその権限を中心に―

戦国時代における石見銀山について

坂根 良平

本多忠勝の生涯

米田 優人

―流通と対外関係をを中心に―

太平記にあらわれる人物像の変遷

開 裕美子

安国寺恵瓊について

磯崎 光一

戦国期織田家に關する考察

高木 裕司

―毛利氏・豊臣政権との関係をを中心に―

室町期伊達氏の勢力拡大についての考察

高橋 進

桶狭間合戦についての一考察

打川 洋貴

織田信長の人物像

玉井 翔

―合戦の起因・経過・勝敗から考える両軍の兵力差―

加藤 啓佑

古琉球時代における神女組織の一考察

手嶋 幸子

徳川家康の動向についての研究

佐野 浩介

―開得大君・ノロを中心に―

異類異形と言われた人々について

中津井祐貴

長篠の戦いについての考察

須田 雄介

―畏怖視から卑賤視へ―

中世都市山口について

西村 健

―史料からみる両軍の動きと信長の戦略―

隅田 晋成

―大内文化の展開―

杣の存在形態の変化

納田 敬悟

―小早川秀秋の動向と北政所―

高山 朋之

―板蠅杣を中心に―

中世沖繩におけるグスクの役割について

前田 雄基

石山合戦についての考察

石山籠城以前の外交を中心に―

今川氏真政権についての考察	田中 雅人	伊達政宗に関する考察	栢本 静香
— 家督移譲から政権末期までに見る今川氏の欠陥 —		☆	☆
三方ヶ原の戦い	長尾 和輝	近世の化物観と身体思想	五十嵐なな
— 武田氏を中心に —		☆	
北政所についての一考察	蓮尾 礎礼	近世前期の大坂三津寺町から見る町共同体の 変化について	泉 慧
— 秀吉の死と関ヶ原合戦 —		☆	
千利休の死について	林 伶奈	近世中期における石門心学の成立と発展	伊藤 大貴
中世における陰陽道について	細田 慈人	『聖教要録』に見る一七世紀後半の政治と思想	岩本 聡
看聞日記に関する考察	堀内 愛歩	家督相続問題からみる徳川光圀の思想	恩澤 文男
— 食物の贈答を中心に —		江戸時代の海運とそれに伴う海難救助制度	片山 隆弘
浅井と織田の関係について	山口 萌美	江戸時代中・後期京都の都市化と緑化への関心	兼田 和弥
— 婚姻と裏切りの理由 —		☆	
元亀争乱についての考察	山下実菜子	近世大坂における都市内交通についての考察	小山 美和
— 信長の戦いと戦略 —		☆	
山城国一揆について	山田 俊幸	江戸時代の稲荷信仰と祭礼について	崎山 実奈
— 国人・農民の動きからの考察 —		☆	
北条政子についての考察	山戸真理菜	近世中・後期における富士講の思想と民衆の行動	鈴木 裕介
— 中世前期女性からみた評価と実態 —		☆	
中世史の終焉	畑 良知	近世中期以降の賤民支配の変容をめぐる 近世における密通仕置の変遷に関する歴史的考察	登川 美希
— 九戸政実の乱について —		☆	
		熊沢蕃山の教育思想における歴史的意義の考察	徳永 正彦

江戸時代の大和川水運における剣先船の役割 中屋 靖孝

江戸時代中期以降の「忠臣蔵」文化の展開 廣瀬 友香

『東海道中膝栗毛』をとおしてみる近世後期の旅文化

藤本 敦仁

江戸時代の村方文書にみる算用実例の研究 藤原 貴大

江戸時代における薬品産業の展開と民間の動向

森岡 典子

徳川吉宗の藩政から幕政への展開

山路 真規

近世中期・後期における江戸の銭湯文化 和田 英美

赤松 英幸

近世における善光寺領の政治体制について

中澤由香里

近世後期における間引きと墮胎をめぐる政治と民衆

峯 和美

戦後日本の発展と家庭の変化

伊藤 正尋

幕末における人と食との関わり

金野 恭子

—小梅日記を分析して—

中国をめぐる列強と日本

—満韓問題と日露・日英交渉—

鳥羽・伏見戦争と藤堂藩

大久保利通論

明治維新後の島根の教育

山県有朋と奇兵隊

—長州藩の変革、そして維新の道—

明治社会と身分

—ある巡査（士族）の見た西南戦争—

吉田松陰と被差別部落

—女囚高須久子との出会いの中で—

明治天皇論

—天皇睦仁という人物—

高度成長と砺波

—農業の変遷について—

蘭学を志す人々

石橋湛山についての一考察

大和天誅組の変についての一考察

本願寺の海外活動と教育

佐々木俊介

塩原 佑介

島 佑太郎

須田 大介

田井中亨介

中川 祥吾

中村久美子

永野 雅也

畑 一哉

福富 健資

水木 崇行

森本 敦

山田 真末

幕末における彦根蕃の情報収集

—長野主膳の人脈について—

〔満州国〕と石原莞爾

吉川 神奈

グライ・ラマ一三世期のチベットをめぐる国際関係

伊藤 友香

日本統治時代への台湾における評価の変遷

今川 和紀

—最近の台湾での嘉南大圳とその設計者八田與一の

評価について—

【東洋史】

刑罰規定より見た漢代の郷里社会

伊藤 愛実

西洋の衝撃への清末知識人の対応

上野 一樹

『史記』と『漢書』の比較研究

江草 真緒

一七、一八世紀国際流通における琉球

北島 朋子

—儒教とくに董仲舒を中心として—

岡田 憲征

—幕藩体制下での薩琉の動向—

漢代の尚書について

岡田 憲征

清末民国初期の反纏足運動

武内菜津美

—前漢の領尚書事—

岡田 憲征

—西洋との関わりを通して—

匈奴の経済活動について

桂 靖子

清と列強各国との不平等条約について

岩谷 哲也

曹魏政権下における初期道教について

小林 大祐

雲南地方の回族

速水 優

孫呉政権における江南豪族の役割

小松 恭之

—江南豪族と江北系人士の比較—

【西洋史】

後漢豪族連合政権論の再考察

菰田 逸平

古代エジプトの宗教と人々

幾島久美子

半両銭の歴史的意義について

春原健太郎

—オシリス信仰と古代エジプト人の生活・思想—

春秋戦国期における「夏」

北郷 晃士

ウエスパシアヌスと四皇帝の年

石川 拓紀

匈奴の支配構造について

丸橋 圭宜

—ローマ帝国のターニングポイント—

☆ ☆ ☆

西洋中世の子どもたち

伊山 芳子

—愛情と〈子ども期〉の存在について—

古典期アテナイの女性について

衆 智章

ビザンツ帝国におけるテマ制の成立と発展

吉田 紘和

―史料からみる女性たち―

ローマ教皇と聖職叙任権闘争

塩川 拓磨

―八世紀を中心に―

吉田 理沙

―グレゴリウス七世の「教皇令書」についての考察―

剣闘士とそのアイデンティティ

清水 庸子

―帝政期の食卓に与えた影響と、その食卓風景―

―中央と地方の比較を中心にして―

アーサー王伝説の起源とその変容

谷浦 慶一

ヘレニズム美術に見る美の理念の変容について

宮坂 真也

―多民族国家形成における象徴としてのアーサー―

十字軍とグレゴリウス七世

辻 俊太郎

―主に文明崩壊の原因について―

田中孝太郎

―キリスト教理念におけるその関係性について―

中世におけるローマ巡礼とサン・ピエトロ大聖堂

橋田裕貴子

百年戦争と傭兵

河村 友香

ベギン会と西洋中世の女性達

林 絵美

ローマン・ブリテンとケルト人

☆ ☆ ☆

伊藤 美怜

バビロン捕囚とユダヤ教の変容

東 君弥

―トルコとフランスの世俗社会でのスカーフ論争―

大坪 加奈

ビザンツと十字軍

牧山 友香

映画から見るアメリカ像

黒石三容子

―第四回十字軍への過程―

ローマの記念門

山下真有美

―チャップリン、またミュージカル映画を中心とした―

―様式の変遷と社会的背景―

サガに見るヴァイキング社会

横田 勉

―対ポーランド教科書会議に至る経緯と成果―

柴田 実穂

―その独特な生活形態―

―その独特な生活形態―

アステカと人身供犠

山本 みき

フランス絶対王政に関する一考察

歴舎 嵩人

―二宮宏之氏の社团国家論を基に―

受贈雑誌及び図書

雑誌

平成二十一年度文学研究科修士論文題目

(史学関係)

愛知大学―日本史・アジア史・地理学―(愛知大学文学部

人文社会科学) 第一九号

愛知大学総合郷土研究所紀要(愛知大学) 第五五号

愛知大学文学論叢(愛知大学文学会) 第一四一・一四二号

青山史学(青山学院大学文学部史学研究室) 第二八号

アカデミア 人文・社会科学編(南山大学) 第九〇・九一

号

アジア学科年報(追手門学院大学国際教養学部アジア学科)

第三号

アジア研究所紀要(亜細亜大学アジア研究所) 第三六号

アジア史学論集(京都大学大学院人間・環境学研究科松浦

茂研究室) 第三号

アジア文化史研究(東北学院大学大学院文学研究科アジア

文化史専攻) 第一〇号

AZUR(成城大学フランス語フランス文化研究会) 第一

一号

いたみ(伊丹市立博物館) 第三九号

古代地方市における諸問題

下村 嘉輝

―国府市を中心に―

中世瀬戸内海における村上氏の基礎的考察 野口 敦史

宋代海商の交易ネットワークについての考察 横田絵里香

『清代鳳山県の族群と社会構造』 森島 雅治

―漢人と原住民の関係について―

戦前期における「家の光」の社会的役割に関する史的考察

中村真理子

近藤 淳司

洞院実世の研究

―後醍醐天皇側近の人生―

四天王寺大学紀要（四天王寺大学紀要編集委員会）第四八号

島根大学ミュージアム年報（島根大学ミュージアム）平成

二一年度

史友（青山学院大学史学会）第四一号

就実大学史学論叢（就実大学総合歴史学科）第二四号

秋大史学（秋田大学史学会）第五六号

上智史学（上智大学史学会）第五四号

湘南史学（東海大学大学院日本史学友会）第一九号

資料館紀要（京都府立総合資料館）第三八号

神女大史学（神戸女子大学史学会）第二六号

信大史学（信大史学会）第三四号

人文学報（東京都立大学人文学部）歴史学編 第三八号

スペイン史研究（スペイン史学会）第二三三号

住友史料館報（住友史料館）第四一号

西洋古代史研究（京都大学大学院文学研究科）第九号

西洋史学報（広島西洋史学研究会）第三七号

西洋史論叢（早稲田大学西洋史研究会）第三一号

専修史学（専修大学歴史学会）第四七号、第四八号

専修大学史紀要（専修大学大学史資料課）第二号

創価大学人文論集（創価大学人文学会）第二二号

双文（群馬県立文書館）第二七号

近松研究所紀要（園田学園女子大学近松研究所）第二〇号

千葉史学（千葉歴史学会）第五五、五六号

中央史学（中央史学会）第三三三号

中国水利史研究（中国水利史研究会）第三八号

中世史研究（中世史研究会）第三五号

津田塾大学国際関係研究所報（津田塾大学国際関係研究所）

第四四号

敦賀論叢（敦賀短期大学）第二四号

東海史学（東海大学史学会）第四四号

東京大学日本史学研究室紀要（東京大学大学院人文社会系

研究科・文学部日本史学研究室）第一四号

唐宋変革研究通訊（渡辺信一郎）第一輯

東北文化研究所紀要（東北学院大学東北文化研究所）第四

一号

東洋史苑（龍谷大学東洋史学研究会）第七三号、七五号

東洋史研究（大正大学東洋史研究会）第三三号

東洋史訪（史訪会）第一六号

東洋大学文学部紀要 史学科篇（東洋大学）第六三三号

東洋文化研究（学習院大学東洋文化研究所）第一二号

徳川林政史研究所研究紀要（財団法人徳川黎明会）第四四号

号

長野県立歴史館研究紀要（長野県立歴史館）第一六号

七隈史学（福岡大学人文学部歴史学科七隈史学会）第一二二

号

奈良歴史研究（奈良歴史研究会）第七二、七三号

鳴門史学（鳴門史学会）第二三三号

新潟史学（新潟史学会）第六二、六三三号

二松（二松学舎大学大学院文学研究科）第二四集

二松学舎大学大学論集（二松学舎大学文学部）第五三三号

日本研究（国際日本文化研究センター）第四〇、四一号

日本思想史研究（東北大学大学院文学研究科日本思想史学

研究室）第四一号

日本常民文化紀要（成城大学大学院文学研究科）第二七号、

第二八号

日本モンゴル学会紀要（日本モンゴル学会）第四〇号

寧楽史苑（奈良女子大学史学会）第五五号

年報近現代史研究（名古屋大学近現代史研究会）第二卷

年報非文字資料研究（神奈川大学日本常民文化研究所非文

字資料研究センター）第六号

白山史学（東洋大学白山史学会）第四六号

パブリック・ヒストリー（大阪大学西洋史学研究室）第七

号

東アジア学術総合研究所集刊（二松学舎大学東アジア学術

総合研究所）第四〇集

東アジア研究（大阪経済法科大学アジア研究所）第五二号

東アジア世界史研究センター年報（専修大学社会知性開発

研究センター）第三、四号

弘前大学国史研究（弘前大学国史研究会）第一二七号

広島東洋史学報（広島東洋史学研究会）第一四号

福岡教育大学紀要（福岡教育大学）第五九号第二分冊社会

科編

佛教大学総合研究所紀要（佛教大学総合研究所）第一七号

文学部論集（佛教大学文学部）第九四号

法政史学（法政大学史学会）第七二号、七三三号

法政史論（法政大学大学院日本史学会）第三六号、三七号

北大史学（北京大学歴史学系編）第一四号

三井文庫論叢（財団法人三井文庫）第四三三号

民具マンスリー（神奈川大学日本常民文化研究所）第四二

卷八〇一―二号、第四三卷一―三号

図書

メトロポリタン史学（メトロポリタン史学会）第五号

山口県史研究（山口県史編さん室）第一八号

米沢史学（山形県立米沢女子短期大学日本史学科米沢史学

会）第二五号

ヨーロッパ文化史研究（東北学院大学ヨーロッパ文化研究

所、大学院文学研究科ヨーロッパ文化史専攻）第一二号

洛北史学（洛北史学会）第一二号

立教史学（立教大学大学院文学研究科史学研究室紀要）創

刊号

立正史学（立正大学史学会）第一〇六、一〇七号

龍谷史壇（龍谷大学史学会）第一三〇、一三二号

歴史（東北史学会）第一一三、一一四号

歴史遺産研究（東北芸術工科大学歴史遺産学科）第五号

歴史研究（愛知教育大学歴史学会）第五六号

歴史研究（大阪教育大学歴史学研究室）第四七号

歴史人類（筑波大学大学院人文社会科学研究所歴史・人類

学専攻）第三八号

歴史と地理（山川出版社）第六二八―六三四号

和菓子（虎屋文庫）第一七号

秋田県庁旧蔵古文書 秋田藩関係文書Ⅰ（秋田県公文書館）

秋田県庁文書群目録 第七集（秋田県公文書館）

イギリス政府の対エジプト最後通牒通告（一九二四年）―

両国政府間交渉との関連性を中心に― 川久保一美（津

田塾大学国際関係研究所）

異文化としての日本―内外の視点―（法政大学国際日本学

研究センター）

江戸の旅 物見遊山と湯治（草津宿街道交流館）

お菓子も楽しい！「虎屋・寅年・虎づくし」展（虎屋文庫）

置賜地域の終末期古墳三「山形県高島町安久津古墳群（北

目古墳群）第二次範囲確認調査報告書」（東北芸術工科

大学文化財保存修復研究センター）

鬼板師（愛知大学総合郷土研究所）

貝塚市文化財年報八（貝塚市教育委員会）

街道を行く力士たちと近江の相撲（草津宿街道交流館）

要家文書に見る岸和田藩領の村とその生活（貝塚市教育委

員会）

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵目録（二）美濃国方県郡

木田村 山田家文書目録（岐阜大学地域学部地域資料・

情報センター)

草津の鉄道一二〇年(草津宿街道交流館)

国東半島莊園村落遺跡詳細分布調査概報 備後国山香郷一

(大分県立歴史博物館)

群馬県行政文書件名目録 明治期皇室・来賓・兵事・軍事

編(群馬県立文書館)

群馬県立文書館収蔵文書目録二八 利根郡昭和村諸家文書

(群馬県立文書館)

国際シンポジウム 東アジア研究の新たな視座・現在、

過去、未来 報告論文集(学習院大学東洋文化研究所)

古代東山道 園原と古典文学(愛知大学総合郷土研究所)

古代末期の境界世界―城久遺跡群と石江遺跡群を中心とし

て―(法政大学日本文化研究所)

「篠山藩青山家文書」絵図目録・近世前期大坂周辺絵図(鳴

海邦匡)

四天王寺境内絵図集(大阪市立大学大学院文学研究科都市

文化研究センター)

四天王寺所蔵文書目録(大阪市立大学大学院文学研究科都

市文化研究センター)

専修大学の歴史(平凡社)

大都市近郊農村で就労する出稼ぎ労働者の賃金格差とその

決定要因―中国・浙江省慈溪市の就業データを利用して

― 小原江里香(津田塾大学国際関係研究所)

第二のふるさとのくらし(愛知大学総合郷土研究所)

豊橋市浄慈院日別雑記四 自明治六年至明治一四年(愛知

大学総合郷土研究所)

長野県立歴史館収蔵文書目録九(長野県立歴史館)

日本と韓国における、全要素生産性、ITCの貢献、及び

資源再配分の効果(学習院大学東洋文化研究所研究報告

第五五号)

日本文化の中の天皇―天皇とは―(法政大学国際日本学研

究センター)

橋立神社南遺跡発掘調査報告書(加賀市教育委員会)

東アジア海域における黒潮圏交流の総合的研究 研究成果

報告書(津野倫明)

『東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成―寧波を焦点

とする学際的創生―』寧波地域の水利開発と環境Ⅱ(寧

波地域の水利開発と環境Ⅰ班 研究代表・松田吉郎)

藤田先生退職記念近世政治史論叢(東京大学大学院人文社

会系研究科・文学部日本史学研究室)

武士と騎士 日欧比較中近世史の研究 小島道裕編（思文閣出版）

文化：受容と発展 第九回日韓・韓日歴史家会議報告書（財

団法人 日韓文化交流基金）

翻訳の不可能性（法政大学国際日本学研究センター）

前田土佐守家資料館所蔵品目録 前田土佐守家資料整理調

査委員会編（金沢市）

木簡から古代がみえるく解き明かすあゆみ 木簡研究の三

〇年く（木簡学会）

「和菓子の歴史」展（虎屋文庫）